

# 東京都立 町田の丘学園の紹介

町田市就学相談保護者説明会  
令和元年6月20日

都立町田の丘学園 特別支援教育  
コーディネーター  
ひのおか ぜんすけ  
旭岡 善介

# 町田の丘学園...校舎は2つあります

町田の丘学園**本校舎**

肢体不自由教育部門(小・中・高)

知的障害教育部門(高)

町田の丘学園**山崎校舎**

知的障害教育部門(小・中)



① 歩き



登校

② 自家用車



③ スクールバス



町田の丘学園は、

○肢体不自由教育部門

○知的障害教育部門

※それぞれ小学部、中学部、高等部があります。



# 肢体不自由教育部門小学部

意欲をもって生きる子供をめざして

- 健康な体を作り、いきいきと生活する力を育む。
- 様々な経験を通して、豊かな感性や興味・関心を育む。
- 自分の気持ちや要求を表現する力を育む。
- とともに活動する中で、人と関わる力を育む。



## 2つの活動の形態があります


### ○学年集団で行う活動

日常生活指導  
自立活動  
朝の会  
帰りの会  
生活単元学習

### ○グループで行う活動

発達(認識等)の様子や  
身体の動き等に共通する  
課題をもつ子供たちの集団

国語・算数  
音楽  
図画・工作  
生活単元学習



# 肢体不自由教育部門 訪問学級



小学部、中学部、高等部の各学部と  
連携を取りながら訪問指導を行っています

在宅訪問



## 小学部の教育目標

### 知的障害教育部門小学部

遊ぶこと・感じること・考えること・  
わかることを楽しめる児童を育てる

- 心身ともに健康で元気に生活する。
- 基本的な生活習慣を身に付ける。
- 人や物に関心を広げる。自分で考え行動する。
- 教師や友達との関わりを広げみんなと遊べる。
- 自分の気持ちや要求を伝え合える。





# 「基本的な生活習慣を、 身に付ける」



## 日常生活の指導

- ・学校と家庭との共通の指導方法。
- ・必要に応じた支援量→支援量を減らして、一人でできることを増やす。



## 日常生活の指導の主な内容

登下校

着替え

排せつ

朝の会

給食・摂食

歯磨き

掃除

係活動

帰りの会



知的障害教育部門  
小学部

「人や物に関心を広げる  
自分で考え行動する」(キャリア教育)

自立的な生活に必要な事柄を  
实际的・総合的に学習する力

生活単元学習

行事単元

季節単元

生活課題  
単元

制作・飼育  
を中心とし  
た単元

調理を中心と  
した単元

町田の丘学園  
では

共生地域

# 副籍交流

<地域指定校と相談しながら、いろいろな形で交流しています>

## ○直接的な交流・・・

学校行事、地域行事に参加。

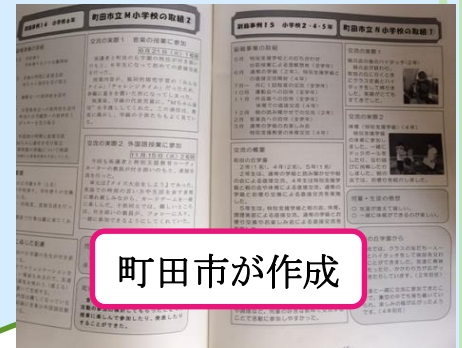
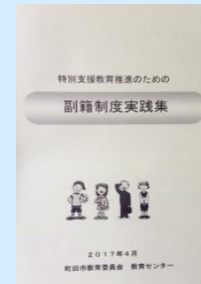
学習活動に参加。

おたよりを届けたり、朝の会、帰りの会に参加。

一緒に給食を食べたり、掃除をしたり、  
クラブ活動で 交流する等。

## ○間接的な交流

学校・学級便り、本人便りの交換等。



本校に在籍している、小学部・中学部の児童・生徒は、居住地に「副籍」を置き、交流教育を行うことができます。

# 特別支援学校の学級編制

## ○普通学級

1クラス**6**名までの学級

## ○重度・重複学級

1クラス**3**名までの学級

健康面、医療面での配慮

自立活動を中心とした学習を行う

## ○自閉症学級

対人関係や社会性の向上を目指す

「**社会性の学習**」の時間を取り入れた学級



# 時間割

町田の丘学園知的障害教育部門小学部4年普通学級の例

月	火	水	木	金
着替え・朝の会・係活動（日常生活の指導）				
体育(朝の運動)				
国語・算数				
生活単元学習	国語・算数	国語・算数	国語・算数	生活単元学習
国語・算数	体育	音楽	体育	
給食準備・給食・片付け・昼休み（日常生活の指導）				
図画工作	生活単元学習	生活単元学習	学級活動	
図画工作	生活単元学習	生活単元学習	クラブ活動	
着替え・帰りの会（日常生活の指導）				

# 知的障害特別支援学校への就学を 考えるに当たって

- 就学に当たっては、お子様の障害の状況、特性をよく御理解いただいた上で、お子様に「どんな力をつけたいか」「卒業後、どんな生活をしてほしいか」という観点をもちながら、就学相談、学校見学に臨まれると良いと思います。
- 学校生活においては、障害の状況、成長等に合わせた進路先をその時々で相談していくことが望ましいと思います。
- 特に重複障害のあるお子様、支援学級と支援学校での選択に悩まれているお子様の就学に当たっては、複数の校種を視野に入れた就学相談をお勧めします。

